

RS ウイルスワクチン「アブリスボ」 当院でも取り扱っております。

当院かかりつけ以外の妊婦さんにも接種可能ですので、ご希望の方はお気軽にお問い合わせください。

接種推奨時期は妊娠28週から36週です。

RS ウイルスは世界に広く分布しており、生後 2 歳までにほぼ 100%が感染すると言われています。乳幼児における肺炎の約 50%、細気管支炎の 50~90%が RS ウイルス感染症によるとされています。特に生後 6 か月未満で感染すると重症化することがわかっています。また、合併症として無呼吸・急性脳症などがあり、後遺症として気管支喘息があります。日本ではほぼ毎年 12~14 万人の 2 歳未満の乳幼児が診断され、約 3 万人が入院を必要とします。有効な治療薬はありません。日本においても重症例では、0.3%程度が死亡しているとされます。

そのため母子免疫ワクチンによって、生まれてくるお子さんの発症や重症化を防ぐことが期待されています。

RS ウイルス母子免疫ワクチン「アブリスボ」について

2024 年 5 月末より「アブリスボ」の接種が可能となりました。妊婦さんに接種することにより、母体で RS ウイルスに対する中和抗体が作られ、その抗体が胎盤を通して胎児に移行する母子免疫ワクチンです。効果は出生後 6 か月間期待できます。

発症予防効果は約 50%、重症予防効果は約 80%とされています。

- 【接種対象】 妊娠28週から36週の妊婦さん(事前予約制)
24週から接種できますが有効性が高い接種時期は28週からとされています。
- 【投与方法】 0.5ml を 1 回、筋肉注射
- 【費用】 35,000 円(税込)
- 【予約方法】 外来受診時、または電話でご予約ください。

アブリスボの接種をお考えの方は、当院の医師や看護師にお気軽にご相談ください。